
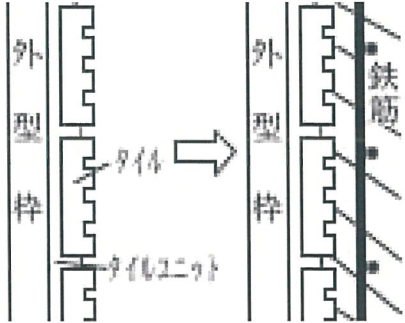


## 比較表

技術名：タイルクリップを使用したPCa板

	新技術 タイルクリップを使用したPCa板	従来技術 タイルはく落防止具なしのPCa板
工法概要	タイルに二次加工(穴あけ・スリット加工等)を施す必要が一切なく、PCa板の製造段階に金属製タイルはく落防止金具を使用してタイルを固定しコンクリートを打ち込むPCa板製品の技術である	金具等を使用せずにタイルを直接コンクリートに打ち込んだPCa板製品である
概略図		
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イニシャルコスト： 110,561,400円/2,000㎡ (7.71%低下)</li> <li>・ランニングコスト(目視点検費)：200,000円/2,000㎡ (98.82%向上)</li> <li>・合計： 110,761,400円/2,000㎡ (7.42%向上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イニシャルコスト： 102,645,000円/2,000㎡</li> <li>・ランニングコスト(打音点検費)：17,000,000円/2,000㎡</li> <li>・合計： 119,645,000円/2,000㎡</li> </ul>
評価	○	—
工程・工期	59日/2,000㎡	59日/2,000㎡
評価	△	—
品質・出来型	・タイル裏面から鉄筋のかぶり厚さ・30mmを自動的に且つ確実に確保できる(向上)	・鉄筋とのかぶり厚さを確実に確保できているか確認できない
評価	○	—
現場条件	・PCa板の施工が可能なすべての現場(主に工場生産が中心)で作業が可能(同程度)	・PCa板の施工が可能なすべての現場(主に工場生産が中心)で作業が可能
評価	△	—
設計条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事全般の外壁タイル面(同程度)</li> <li>・定期点検が必要な建築物、及びタイルの剥離により第三者に危険を及ぼすことが危惧される建築物(外壁・内壁)で特に高い効果を発揮する(比較対象外)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事全般の外壁タイル面</li> <li>・比較対象外</li> </ul>
評価	—	—
安全性	・Pca板に直接埋め込んで使用するため、外壁タイルの剥離落下を防止でき、建築物付近を通行する第三者の安全性が高まる(向上)	・従来技術は、Pca板内部鉄筋のかぶり厚さを確実に確保できているか確認できないため、外壁タイルの剥離落下により第三者に危険を及ぼす可能性がある
評価	○	—
施工性	・専門且つ特殊な技術を必要としない(同程度)	・専門且つ特殊な技術を必要としない
評価	△	—
環境	—	—
評価	—	—
10年点検義務	・竣工10年後、定期調査方法として目視点検で良い(向上)	・竣工10年後、定期調査方法として全面打音調査の必要がある
評価	○	—
NETIS番号	—	—
備考		
総合評価	◎	—